

令和6年度 事業報告書

自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日

社会福祉法人みのり愛の会
めぐみ保育園

＊名 称 社会福祉法人みのり愛の会 めぐみ保育園
 ＊所在地 〒170-0011
 東京都豊島区池袋本町4丁目1番14号
 ＊設 置 社会福祉法人 むのり愛の会
 ＊理事長 田村 仁
 ＊園 長 吉川 直子
 ＊開園年月日平成 22 年 4 月 1 日
 ＊電 話 03-5944-9791
 ＊F A X 03-5944-9761
 ＊E-mail megumi2010@minori-toshima.or.jp

【事業の概要】 令和7年3月31日時点

（１）開所時間

7時15分～20時15分（13時間開所）
 通常保育 9時00分～17時00分

（２）入所定員及び在園児数

年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
クラス	ひよこ	あひる	すずめ	ひばり	はと	つばめ	
在籍数	8名	13名	14名	11名	20名	14名	80人
定員	9名	13名	15名	15名	38名		90人

児童の入所状況

保育所名		初日 在籍児 童数		4月	5月	6月	7月	8月	9月
めぐみ保育園			0歳児	1	1	1	1	2	3
			1歳児	13	13	13	13	13	13
			2歳児	14	14	14	14	14	14
			3歳児	11	12	11	11	12	12
			4歳 以上児	32	32	34	34	34	35
			計	71	72	73	73	75	77
定員	90人								
所長	設置								
民改費	10%加算								
延長	有								

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	4	6	9	9	8	8
1歳児	13	13	13	13	13	13
2歳児	13	13	13	13	14	14
3歳児	12	12	11	11	11	11
4歳 以上児	34	34	34	34	34	34
計	76	78	80	80	80	80

(3) 職員の配置

(正規職員 24名 非常勤他職員 8名 計32名)

	園長	主任	看護師	保育士	栄養士 調理師	用務	経理事務	合計
正規職員	1名	1名	1名	15名	5名		1名	24名
非常勤						1名		1名
臨時				7名				7名

担当業務	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	フリー
正規職員	3名	3名	3名	1名	2名	3名	0名
非常勤							
臨時	(朝)補助	(夕)補助	延長保育補助				
	2名	2名					
土曜日対応		1名					

朝・夕登降園申請状況

		0歳児	1歳児	2歳児	乳児計	3歳児	4歳児	5歳児	幼児計	合計
登園時間	7:15～	0	3	0	3	0	0	2	2	5
	7:30～	1	2	3	6	3	2	0	5	11
	8:00～	2	1	1	4	1	3	4	8	12
	8:15～	2	2	0	4	3	2	0	5	9
	8:30～	3	5	10	18	4	13	8	25	43
	合計	8	13	14	35	11	20	14	45	80
降園時間	～17:00	6	5	7	18	0	3	3	6	24
	～17:15	1	2	0	3	4	0	0	4	7
	～17:30	0	0	2	2	2	4	1	7	9
	～18:00	1	4	4	9	2	7	4	13	22
	～18:15	0	1	0	1	3	4	6	13	14
	～18:30	0	1	0	1	0	0	0	0	1
	～18:45	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	～19:00	0	0	0	0	0	2	0	2	2
	～19:15	0	0	1	1	0	0	0	0	1
	～19:30	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	～19:45	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	～20:15	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	8	13	14	35	11	20	14	45	80

(4) 家庭及び地域の環境

① 地域の環境

東武東上線北池袋駅とＪＲ板橋駅に近い住宅地の中にあり、交通至便の立地条件もあり、両親が共に仕事を持つ家庭が多い。保育園を一步出ると車道が交差するという危険な地域でもあり、安全対策と指導に力を入れている。

保育園園庭側に駐輪場を設置し、保護者職員ともに利用している。また駐輪場側からの送迎も可能にし、北池袋駅利用者にとっては、利便性も高くなってきている。

② 家庭の状況

両親有	78
ひとり親	2
祖父母同居	0
祖父母育児協力有	12
兄弟2人	38
兄弟3人	12
兄弟4人	1
兄弟なし	25

③保護者の就労状況

	父親	母親
常勤	77	69
自営業	1	1
非常勤・臨時雇用	0	5
パート	0	4
不存在	0	0
学生	0	0
障害児対応	0	0
介護対応	0	1

④ 保育時間

9時間以内	41
10時間以内	30
11時間以内	9
11時間以上	2

⑥在園児居住地域状況

池袋本町1丁目	7
池袋本町2丁目	6
池袋本町3丁目	3
池袋本町4丁目	53
上池袋1丁目	1
上池袋2丁目	1
上池袋3丁目	5
上池袋4丁目	3
その他	1

⑤ 入園の理由

両親就労	76
病気	2
その他	1

⑦ 通園範囲

徒歩10分以内	78
その他	2

(5) 年間行事報告

月	行 事		クラス 行 事	
4月	1日(月)	進級・入園式	9日(火)	0歳児健診
	3日(水)	避難訓練	15・22日(月)	体育指導(3.4.5歳児対象)
5月	2日(木)	避難訓練	21日(火)27日(月)	体育指導
	14日(火)	全園児健診	11日(土)	保護者会
	23日(木)	歯科検診		
6月	3日(月)	避難訓練	10・24日(月)	体育指導
	25日(火)	眼科健診	11日(火)	0歳児健診
	13日(木)	歯磨き指導(幼児のみ)	21・22日(金・土)	お泊まり保育(5歳児のみ)
7月			14日(金)	文字の教室(5歳児のみ)
	2日(火)	避難訓練	8日(月)・22日(火)	体育指導
	20日(土)	めぐみまつり	16日(火)	0歳児健診
8月	1日(木)	プール開き(幼児)	4・11日(木)	文字の教室(5歳児のみ)
	2日(金)	避難訓練	20日(火)	0歳児健診
9月	30日(金)	プール納め(幼児)	19・26日(月)	体育指導
	2日(月)	引き渡し訓練	13日(金)	消防署見学(5歳児のみ)
10月	12日(木)	耳鼻科検診	10日(火)	0歳児健診
			9・30日(月)	体育指導
11月			19日(木)	文字の教室(5歳児のみ)
	3日(木)	避難訓練	21・28日(月)	体育指導
	12日(土)	運動会	8日(火)	0歳児健診
12月	30日(水)	芋掘り遠足(4.5歳児)→雨天中止	28日(月)	読み聞かせ(紙芝居)
	5日(火)	避難訓練	11・25日(月)	体育指導
1月	12日(火)	全園児健診	7・14日(木)	文字の教室(5歳児のみ)
			21日(木)	イケバスツアー(5歳児のみ)
2月	2日(月)	避難訓練	9・16日(月)	体育指導
	11日(水)	避難訓練(不審者対応)	10日(火)	0歳児健診
	21日(土)	発表会	12日(木)	文字の教室(5歳児のみ)
	25日(水)	お楽しみ会→感染症流行の為中止		
3月	8日(水)	避難訓練	14日(火)	0歳児健診
	10日(金)	新年子ども会	20・27日(月)	体育指導
4月			16・23日(木)	文字の教室(5歳児のみ)
			21日(火)・30日(木)	地域交流会(3歳児・5歳児)
	3日(月)	節分集会	18日(火)	0歳児健診
5月	8日(木)	総合避難訓練	10・17日(月)	体育指導
	15日(土)	保護者会	5日(水)	地域交流会(5歳児)
6月			13日(木)	文字の教室(5歳児のみ)
	4日(火)	避難訓練	7日(金)	お別れ遠足(5歳児のみ)
7月	22日(土)	第15回卒園式	3日(月)	体育指導
			11日(火)	0歳児健診

＜ 年 間 行 事 ＞

令和6年度、15年目のめぐみ保育園の行事

・5,2月「保護者会」

・コロナウイルス5類となり、年に2回の保護者会は各クラスの参加者も多く保護者との信頼関係も深まり、意見を交わす良い機会となった。

・6月「お泊まり保育」

・令和6年度は例年通り6月下旬の金・土曜日にお泊まり保育を行った。午前中は都営バスに乗り、紙の博物館で紙漉き体験を行った。バスの乗り方や、マナーを知ることができ良かった。紙すきの手順など話を聞いて、それぞれが挑戦することができた。お弁当も、会話が弾み楽しく食べることができた。園内では、宝探しや、夜の花火を楽しみ、友達と1泊し、貴重な体験となった。親から初めて離れることで不安になってしまう子もいたが、精神的にも成長に繋がったと思う。2日目は、思い出の絵を描いて、楽しいお泊り保育を振り返った。

・7月「めぐみまつり」

・7月の第3土曜日に行い、混雑を緩和するために本年も乳児と幼児と時間を分け実施した。内容は、昨年と大きく変えず、保護者の人数は2名と制限をしたが、ほとんどの家庭が参加し、皆、夏の一大イベントを楽しみにしているようであった。食事をするスペースは作らずお菓子をお土産とし、その分ゲームコーナーを広くとるようにしたくさん楽しめる場を設けた。卒園児の学童の参加も実施したが、大きな混雑はなかった。毎年この時期に計画しているが、猛暑日であったため、今後の日程調整など検討していく必要がある。

・10月「運動会」

・今年度も例年通り旧文成小学校の校庭をお借りして行った。本年度は、(なかよしの日)で遊びに来てくれた親子や、園見学でお誘いした方も、運動会の見学に来ていただき、未就園児の競技に参加していただいた。各クラス親子競技も復活させ、全園児で行うことができた。今年度は東京音楽大学の付属幼稚園が校舎を使用中ということで、豊島区の管理下で、保育課の巡回グループの方と、幼稚園の職員の方と3者で打ち合わせを行い連絡を取り合いながら進めていった。雨天の場合は体育館を使用することも想定して計画をし、校舎の使い方を細かく考えていった。幸いにも当日は天候にも恵まれ校庭で行うことができ、子どもたちも緊張感の中で自分の力を発揮することができていた。年長児の鼓笛隊は今まで練習をしてきた成果を発揮し、楽器の演奏をしながら隊形移動をし、クラスで力を合わせて取り組む姿を保護者に観てもらった。乳児も種目は少なかったものの、頑張っている姿を保護者に観てもらう良い機会となった。今後旧文成小をお借りできなくなるとの話もあり、池袋第一小学校へ移行していく予定。

・10月「芋掘り遠足」

・今年度は秋の芋ほり遠足を計画したが、雨天のため中止となった。下見などを済ませ、計画していたため、次年度に繋げていきたい。

・12月「発表会」

・本年度は、2クラスずつ入れ替え制にして鑑賞してもらうことにした。2クラスずつ行う事で、保護者の入れ替え回数も減り、特に混乱することもなく行うことができた。2クラス分を鑑賞することができ、保護者にとっても子どもの成長と共に、他クラスの子どもの顔や、名前、様子を知る良い機会となった。今年度は0歳児の子ども数名が入園してすぐだったため、在園児のみ参加した。保護者の方々に目の前で見てもらうことに緊張する子も多かったが、子どもたちは手作りの衣装を身につけ、自分の役になりきりながら演じることの楽しさを味わうことができていた。特に5歳児の台本は、子どもたちが、自ら演じることを楽しみ、クラス全員で、作品を作りあげる喜びにあふれていた。

・3月「第15回卒園式」

・年長児とその保護者、祖父母も出席出来るようにし、来賓の方もご招待し、コロナ前の形に戻って来た。子どもたちの堂々とした姿をしっかりと見届けることができた。14名の卒園児が元気に巣立ち、感慨深い卒園式となった。

(6) 主な事業

I. 子どもの発達への援助

【0歳児保育の充実】

個々の成長に合わせての保育計画を行った。また外国籍のお子さんが増えていることで、離乳食の進め方や、お試しの食材など、写真を活用しながら、わかりやすく説明した。子どもを預けるのが初めての保護者に対して連絡帳や受け入れ、お迎え等に丁寧な対応を行うよう心掛けた。

【発達に問題のある子どもへの対応】

東部子ども家庭支援センターから発育巡回指導員と連携し個々の成長の指導と支援を行った。今年度は豊島区障害児保育審査会に2名の園児が対象となり、障害児加算の補助が適応された。また気になる子に対して「こどもの育ちと教育 カルテット」の高木氏に依頼し、毎月個々の成長の様子を観察し、アドバイス等をいただき保育に活かしている。年長児に2名の該当者があり、本児に合う学校を一緒に調べ保護者と情報を共有しながら就学に繋げた。

【食物アレルギー児への対応】

1名の食物アレルギー児に関して医師の診断書を基に給食調理で該当物の除去、代替食を提供した。また、保護者との話し合いをしながら行い成長に伴い除去解除の子どもも後半出てきた。

【地域との関わりの中での育ち】

豊島区立池袋第一小学校の先生と年長児の要録関係で連絡を取ったり、学童クラブの部屋で遊ばせてもらった。豊島区立池袋本町小学校には地域園長会の中で学校内をお借りしている他、年長児1年生との交流を持ったり、近隣地区の保育園が集まり、学童クラブの体験を行い、就学前に期待を持って生活ができるように配慮してくれている。

II. 保護者への就労・子育て支援

【長時間保育への対応】

7:15～20:15と長時間保育への対応として、1時間延長児には補食提供、2時間延長児には夕食提供を行った。アレルギー児の延長保育の補食・夕食提供には十分な配慮を行い実施した。また、18時15分を過ぎてからのお迎えになる事をギリギリで連絡してくる家庭もあり、早目の連絡をお願いした。

【年末保育への対応】

年末保育は実施しなかった。

【なかよしの日】

年間6回のなかよしの日を行っている。1歳児～5歳児クラスの午前中、保護者と共に体験をして同じ年代の子ども達と遊び、楽しんでもらうことを目的として行っている。家族の皆様にも、保育園を知ってもらう事や、保育園の子どもの様子を見てもらい保育園としての方針を理解してもらう良い機会となる。今年度に関しては参加者は3組であった。HPなどでアピールしていきたい。

【保育情報の提供】

園だより月1回・クラスだより月1回・給食献立月1回・保健だより月1回を保護者に情報提供を行った。

【保育参加及び参観】

今年度は6・7月、保護者の都合の良い日に乳児、幼児の1組、日頃の保育を参観してもらい家庭での子どもの様子を面談で話し合い、園との共通理解を得ることを目的としている。年長児に関しては就学に向けて10月ごろに希望者のみ実施し、支援級を希望する保護者にも寄り添い、やり取りを行った。

Ⅲ. 地域子育て支援

【育児相談】

在園児の保護者からの育児相談が多く、年齢に伴い集団生活にでの子ども同士のトラブルに対する配慮等があった。

【ふれあい体験】

今年度はふれあい体験への希望はなかった。

【園庭・プール開放・行事等への参加お誘い】

今年度は、行事等の縮小また感染症対策の観点から、地域の参加は見送った。

【短期間特例保育】

今年度は、希望者はいなかった。

【パートナー保育登録】

園見学や体験保育を参加した家庭とパートナー保育登録を行い保育情報の発信や子育て講座のお誘いを行った。年間30組以上の登録があった。

(7) 健康管理

<健康管理年間表>

健康診断(田村医院)	年 2 回	歯科検診(大道歯科医院)	5月23日
0 歳児健診(田村医院)	月 1 回	耳鼻科検診	9月12日
眼科検診(内田眼科)	6月25日	腎臓検査 (3歳以上) (4・5歳児対象)	6月6日
身体測定 (園で実施)	月 1 回		

3歳児・4歳児・5歳児対象に異常の早期発見を目的としたスクリーニング視力検査を実施し眼科健診時医師の指導を受け、要受診児の保護者に受診を勧める。

＜感染症報告＞

4月 新型コロナウイルス・クループ症候群・とびひ・溶連菌感染症
5月 RSウイルス・流行性角結膜炎・溶連菌感染症・感染性胃腸炎
6月 細菌性結膜炎
7月 手足口病・細菌性結膜炎・とびひ・ヘルパンギーナ
8月 胃腸炎・新型コロナウイルス・アタマジラミ・手足口病・麦粒腫
9月 溶連菌感染症・ヘルパンギーナ
10月 細菌性結膜炎・手足口病
11月 手足口病・インフルエンザ
12月 インフルエンザ・胃腸炎・とびひ・手足口病・水痘・溶連菌感染症
1月 溶連菌感染症
2月 感染性胃腸炎・溶連菌感染症
3月 感染症無し

- ・看護師を配置し園医の指導のもとに健康管理を行う。
- ・仕事や生活状況に配慮しながら、こどもの生活リズムに心を配る。
- ・ハンディーのある子どもは区の心理判定員による巡回指導を受ける。
- ・全園児、登園時と午後の2回、検温をする。
- ・看護師または保育士の視診の結果、健康状態の悪い場合は受け入れ時 に考慮する。
- ・保育中に発熱、発病した場合は父母に連絡し、出来る限り早く迎えにきてもらい
かかりつけの 医師の診察をうけるようにしてもらう。
- ・38度以上の高熱が出た翌日はなるべく自宅で様子を見て、全身の回復後に登園するよう促す。
- ・医師の診断のもとに出された薬（食物アレルギー緊急対応薬、心臓病、
腎臓病、難病など持病薬、熱性けいれん止め坐薬など）の場合は、園でも
与薬をする。（必要な場合のみで原則は、薬持参なし。解熱剤は投与しない。）
- ・伝染性の病気が治って登園する時は、医師の証明書を提出してもらう。
- ・保健所での健診、予防接種は受けるように指導する。
- ・看護師は保健だよりを適宜に発行する。

(8) 給食

- ・年間を通して、旬の食材を積極的に使用し、担任保育士の意見や子どもたちの様子を参考に献立を作成した。今年度は食育やクッキングなど子どもたちが食に触れる機会を多く計画した。行事食では親しみやすいメニューを中心に立て、月の献立では新しいメニューも数多く取り入れた。12月はセレクト給食、3月はリクエスト給食をつばめ組で行い、自分が選んだ給食を嬉しそうに食べている姿が見られた。
- ・離乳食は、食材の切り方や食事量を保護者に見てもらうため、5月と11月に離乳食の展示を行い、保護者会では試食会も行った。成長し食事形態が移行した状態の離乳食も見てもらいたい為に半年に1回行っている。保護者会では実際に試食し、硬さや味付けを知ってもらう為にしている。家庭でも保育園のような離乳食を作ってもらうよう協力を仰いだ。
- ・3月のお別れ会食では、クッキングでは餃子を作りを行った。ひだを作るのが難しそうだったが楽しそうに作業していた。会食では他クラスの子どもたちと一緒に食べ、少し緊張した表情が見られた。
- ・鰯の手開きでは実際に1人1尾ずつ、手開きを行った。怖い、気持ち悪いと言ってしまう子どもや興味津々に前のめりになって見ている子どもが多く、その姿が印象的だった。命を食しているということ、食べ物と食事に関わってくれている人に感謝の気持ちを持ってほしいということ伝えた。
- ・給食の実物をケースに入れ、展示し、夏季は衛生面を考慮し写真で行った。掲示板では、食材がどの献立に入っているか分類し掲示を行った。また子どもたちや保護者のリクエストに応じてレシピの配布をし家庭でも作ったという話も聞くことができた。
- ・誕生日の園児には、手作りの旗と専用のお皿を用いておやつ時にお祝いをした。
- ・つばめ組を対象に、給食を、どんな器具があるか知ってもらい、給食について興味、関心をよりもってもらうために給食室見学を行った。
実際に調理作業をしているところを見たり、家庭にはない大きな鍋や、炊飯器に驚いている姿が印象的だった。かつおだし、スープのだしの味見してもらい、いい匂い、苦いなどさまざまな意見があった。普段はできない良い経験になった。
- ・今年度は野菜栽培や、食材の五感クイズ、野菜の下処理のお手伝い、おやつのクッキングはとて子どもたちの反応が良かった。実際に体験できる食育を行うことで子ども達の印象に残ると感じた。

(9) 安全管理

- ・乳幼児期は大人の援助が必要な時期であり、保育所の細心の注意や機敏な行動で危険を防止することが大切である。
- ・寝返りのできない乳児の睡眠に当たっては、仰向けに寝かせ呼吸や顔色、嘔吐の有無等きめ細かに観察し記録する。記録者はサインする。（新生児乳児呼吸モニター使用）
- ・おむつ交換時には目や手を離さない。
- ・子どもの成長を見極め、安全性に考慮しながら怪我の無いようにする。
- ・遊具、玩具の危険性を点検し、危害防止の措置を速やかに行う。
- ・危険物を保育室に置かない。

*園外保育

- ・園外へ出かける際は、必ず事務所に行き先を伝え、散歩ノートに園児数、引率職員数等記入し園児人数を確認して安全な道路を選んで行動した。連絡の取れる様に誰が携帯を持っていくのかも記入するようにしている。

連絡簿、救急用品を持参して行く。

- ・夏の猛暑の時は、園外での活動を控え、水分補給を取れるように配慮している。

*子ども権利

- ・育児困難な家庭の場合は、東部家庭支援センターと連携を取り、虐待の育児、困難家庭に関しては、豊島区児童相談センターと連携を取るようになっている。
育児困難な家庭は担任を交えながらの面接を行うように指導をしている。

(10) 衛生

- ①害虫駆除＝調理室にはゴキブリ駆除薬を保育終了後取り付ける。
保育室および園外建物周辺に関しての害虫駆除に関しては保健所
および専門家の助言を受け駆除対策を行う。

- ②ふとん洗濯＝リースの為年1回新し布団に交換される。
シーツは毎週持ち帰り洗濯し、おねしょの際はカバーを洗濯機で
洗い、メッシュ布団はアルコール消毒し日干ししている

- ③玩具、仕切り柵、棚、乳児クラスのテーブルの拭拭＝乳児の玩具や仕切り柵、
棚、乳児クラスのテーブルは1日1回ピューラックス液で拭く。
(伝染性の病気が発症した場合は、各クラスで消毒を行う。)

- ④食器消毒＝哺乳瓶、乳首等は、専用液体で消毒を行いその後電子レンジ
で加熱を5分行う。殺菌庫で30分間消毒する。

- ⑤食器保管＝熱風消毒保管庫に収納する。

- ⑥細菌検査（0-157を含む）＝副園長、栄養士、看護師、全クラス担任、フリー職員、
保育補助者は毎月1回実施する。
＊6月・12月は、全職員が実施。

(11) 運営管理

＜管理運営分担＞

園長	＜人事管理＞職員及びパートの採用 看護師の健康管理・栄養士の栄養管理の点検 指導保育者のクラス運営
	＜指導監査＞立会い
	＜施設管理＞園舎の整備、保守管理
	＜財務管理＞予算編成及び管理、決算書作成、物品購入
	＜防火管理＞避難誘導訓練の実施、防火設備の点検、災害備蓄品の確保
	＜園児管理＞児童名簿作成・保育課との折衝・事故処理
	＜諸会議運営＞職員会議・リーダー会議・理事会
	保護者会・地域との折衝・苦情解決責任・豊島区園長会 学校運営連絡会(本町小学校)
主任	園長の補佐・職員のまとめ役・各職員職務助言（指導） 保育運営の人員配置（勤務表作成・有休・週休・ローテーションの調整等）
	保育指導計画、保育記録の指導点検（クラス日誌・個別表・月案・週案）
	研究活動の指導、実習生の指導、園内研修計画・外来業者の受付案内 ・保育教材発注
	保護者や地域の保育相談・苦情相談受付者 ・地域子育てネットワークへの参加

＜業務委託＞

＊別紙参照の事業所に業務を委託する。

＜苦情解決＞

- ＊苦情解決責任者（園長）
- ＊苦情受付担当者（主任）
- ＊第三者員（監事、民生員）

- ・全体職員会議　＝　月1回　年間行事計画に記載
- ・リーダー会議　＝　午後1時30分～2時30分
園長　主任
0歳児担任　1歳児担任　2歳児担任
3歳児担任　4歳児担任　5歳児担任
看護師　栄養士　経理事務
- ・保育者会議　＝　随時要望に応じて実施　午後5時～7時
- ・給食・離乳食会議　＝　月1回　午後1時30分～3時
- ・衛生会議

<福利厚生>

- ・ 共済会＝豊島区勤労者共済会に加入（慶弔金の支給、レクレーション、指定宿泊施設）
- ・ 職員健康診断＝政府管掌一般検診
- ・ 給食＝1食400円昼食・おやつ。希望者に提供。
- ・ 職員細菌検査（0-157含む）
- ・ インフルエンザ接種助成金として接種した職員に、年1回委託医の料金を基準に補助する。田村医院へ依頼して集団での予防接種を行った。
- ・ 福利厚生＝年度末の慰労会にて職員に補助する。
- ・ 職員被服費＝新任職員・給食職員
- ・ 社会保険＝健康保険・厚生年金・雇用保険に加入。
- ・ 退職金＝独立行政法人福祉医療機構に加入
- ・ 労災上乗せ保険
- ・ 休憩＝1時間の休憩を交替でとる。

◎施設整備

保守管理

- ・ コンピュータサーバーにてウィルス情報流出の防止、バックアップ管理。
- ・ 消防署に消防計画を必要に応じ提出する。
- ・ 非常通報装置保守点検＝テルウェル東日本3ヶ月に1回点検
- ・ 電気関係修理＝奈良電気
- ・ 設備修繕＝（株）柳工務店

◎防災・防犯

- ・避難訓練＝月 1 回状況に応じて場所を設定して行う。
- ・消火訓練は毎月消火器の扱いに慣れるため実施する。
- ・防災訓練＝年 1 回（本年度は9月）園独自の引き取り訓練を実施する。
今年度は、前日から雨天の為自園にて引き取り訓練を実施した。
- ・火災報知設備の点検＝年2回定期点検をし消防署に結果を提出する。
- ・非常用備蓄食品＝水、ひだまりパン、おかゆ、五目ごはん、ビスコなど。
- ・施設強化補助金15万円＝災害用に必要な食品の期限切れなどがあり入れ替えを行った。

◎続いて起きる震災や災害から守るために

東日本大震災・熊本の震災など続いて起きる震災から子ども達を守るために保育園として年間を通し検討してきた。緊急に備え3日間の備蓄品や園内の安全性を考え、東日本大震災からしっかり備えることを進め、安全強化に繋げている。職員との緊急時における対応等を話し合い、災害用品の数確認や役割を決めながら備蓄品を保管している。

BCPや園の災害時マニュアルをもとに、係で定期的に話し合いを持ち、意識を高めている。

◎職員研修教育

今年度は、3回の合同研修を行った。1回目は、健康体操の田村先生にヨガを習い、職員の体の癒しと健康をテーマに行った。お互いの園のコミュニケーションを取るきっかけにもなった。2回目は医師中村哲氏の足跡をたどるビデオを鑑賞し、一人一人が感想文を書いて、保育の中でそれがどのように生かせるのかを考えた。3回目の合同研修はJES日本教育シューズ協議会の吉村先生に足育の研修をお願いした。その後、保護者会でも足育の大切さを伝え、看護師を中心に子ども向けの足育を定期的に行っている。姉妹園と研修日を統一し、参加した職員の声を聞き個人の持つ意識を高め、そのことが保育の質の向上次いでは園の向上に繋がるので、多くの研修に参加し、学びを深めていきたい。

◎職員研修

令和6年度は、前年の第三者評価を受け、保護者や職員からの意見を聞くこととなり、園内の改善に努めた。

園長の交代や、クラスリーダーの交代などがあったが、主任やクラスリーダーを中心に話し合いを持ち、

子どもたちや保護者が、今まで通り安心して登園できるように、丁寧な対応を心掛けた。

保育園の基本理念を念頭に、個々の発達に応じた対応を行い、不適切にならない保育の取り組みを、皆で意識できるように会議等でも話し合った。

◎園外研修報告

研修主催		派遣人数	予算単価	予算額
救命救急訓練	初講	0		
	再講	8	1,600	12,800

◎研修内容

研修主催	テーマ	人数
豊島区子ども若者課 人材育成グループ	児童虐待防止(乳幼児)	2
豊島区子ども若者課 人材育成グループ	幼児のための靴教育	1
豊島区子ども若者課 人材育成グループ	食育向上・食文化の継承	1
豊島区子ども若者課 人材育成グループ	絵本から広がるあそび	1
豊島区子ども若者課 人材育成グループ	主査・リーダー研修「保育事例を通じて学ぶもの」	1
豊島区子ども若者課 人材育成グループ	園長研修「深刻事故から学ぶ予防と緊急時対応」	1
豊島区子ども若者課 人材育成グループ	メディア環境との付き合い方	1
豊島区子ども若者課 人材育成グループ	子どもの感染症予防について	1
豊島区子ども若者課 人材育成グループ	乳幼児の食べる機能と発達	2
豊島区子ども若者課 人材育成グループ	乳幼児の病気やケガ（日常看護編）	1
ニシハタシステム	防災研修	1
東京都社会福祉協議会	社会福祉法人会計入門研修	1
日本保育保健協議会	食物アレルギーこんなことあるある	1
東京都特別支援教育推進室	就学相談講習会 保育者の「め」と「みみ」と「て」と「ころ」	2
日本保育保健協議会	ヒヤリハット記録を活かしてHealthy, Happy保育をしよう 「変えられる」を見つけよう	1
一般財団法人 家庭まち創り政策ラボ	保育士等キャリアアップ研修（障害児保育）	3
一般財団法人 家庭まち創り政策ラボ	保育士等キャリアアップ研修(食育・アレルギー対応)	4
一般財団法人 家庭まち創り政策ラボ	保育士等キャリアアップ研修（マネジメント）	2
一般財団法人 家庭まち創り政策ラボ	保育士等キャリアアップ研修（乳児保育）	6
特定非営利活動法人 ちゅーりっぷの心	保育士等キャリアアップ研修（乳児保育）	1
公益財団法人 総合健康推進財団	保育士等キャリアアップ研修（幼児教育）	1
公益財団法人 総合健康推進財団	保育士等キャリアアップ研修（保護者・子育て支援）	1
一般財団法人 家庭まち創り政策ラボ	保育士等キャリアアップ研修（保健衛生・安全対策）	1

一般財団法人 保健福祉振興財団	保育士等キャリアアップ研修(食育・アレルギー対応)	1
一般財団法人 家庭まち創り政策ラボ	保育士等キャリアアップ研修（幼児教育）	3
一般社団法人 絆友会	保育士等キャリアアップ研修（乳児保育）	2
一般社団法人 絆友会	保育士等キャリアアップ研修（保護者・子育て支援）	3
一般社団法人 絆友会	保育士等キャリアアップ研修（保健衛生・安全対策）	1
特定非営利活動法人 ちゅーりっぷの心	保育士等キャリアアップ研修(食育・アレルギー対応)	1
一般財団法人 家庭まち創り政策ラボ	保育士等キャリアアップ研修（保護者・子育て支援）	2
社会福祉法人 みんなぎ	保育士等キャリアアップ研修（マネジメント）	1
公益財団法人 総合健康推進財団	保育士等キャリアアップ研修（障害児保育）	1
公益財団法人 総合健康推進財団	保育士等キャリアアップ研修（保健衛生・安全対策）	1
一般社団法人 絆友会	保育士等キャリアアップ研修（幼児教育）	1